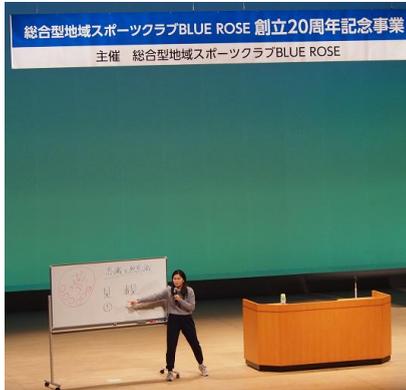
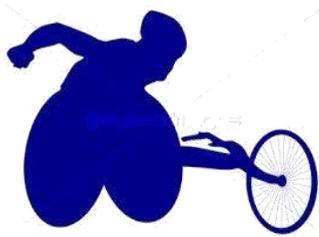


総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【1月号】

クラブ名	総合型地域スポーツクラブ BLUE ROSE	訪問日	1月21日	訪問者	和田 康夫
訪問詳細	<p>創設20周年記念事業「川澄奈穂美選手が下関にやってくる」というイベントに参加してきました。前日に、川澄選手によるサッカークリニックが行われ、この日は、下関市生涯学習プラザで、約250人の参加で、トークショーが開催されました。川澄選手は、夢をもつことの大切さや不可能を可能にするためには、意識して周りを観ることを繰り返すことで、やがて無意識にプレーができることをご自身の体験を交えながらお話されました。テンポのよい口調での問いかけに会場からの反応がたくさんあり、終始和やかな雰囲気、サッカーに限らず、スポーツを楽しむ人にとっても、有意義な一日となりました。</p> <p>マネジャーの石川さんから、数年前から計画的に予算を組むことで実現した記念事業の一番の目的は、地域貢献をすることだという思いも聞かせていただきました。</p> <p>また、山口県社会人サッカーリーグ（来年度から一部に昇格）でプレーする選手が子どもたちの指導者になっている組織は、総合型地域スポーツクラブの一つの形であると感じました。</p>		 <p>総合型地域スポーツクラブBLUE ROSE 創立20周年記念事業 主催 総合型地域スポーツクラブBLUE ROSE</p>		

クラブ名	いがみ倶楽部	訪問日	1月8日	訪問者	岡村 睦美
訪問詳細	<p>今回は、長門市油谷で活動しているいがみ倶楽部主催事業である「どんど焼き」の様子を見に行ってきました。どんど焼きは、正月の松飾りやしめ縄、書き初めなどを家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという、日本全国に伝わるお正月の火祭り行事です。</p> <p>12月初旬にいがみ倶楽部と油谷青年自然の家が開催したしめ縄作りに参加した子どもたちや地域の方など約50名が参加していました。いがみ倶楽部の榎田会長扮する火の神様によって点火されると、勢いよく燃え上がり、皆で1年の無病息災を祈りました。寒い中でしたが、地域の方による手作りのぜんざいや抹茶がふるまわれ、心も身体も温まりました。</p> <p>総合型クラブのみなさんが、地域の子どもたちに伝統を伝える大きな役割を果たしている姿がありました。ぜひ今後も継続してほしいです。</p>				



☆レッツ！オリ・パラ☆

みなさんは、パラリンピックがどのような大会でどのような競技があるのか、選手はどんな条件のもと出場しているのかご存じでしょうか。現在のパラリンピック出場の条件として、まず基本的に、聴覚障害者・精神障害者の出場は認められておらず、その他の視覚障害や脳性麻痺・運動機能障害・切断などの障害がある人は出場することができます。競技に関する部分については、オリンピックと同様に、参加標準記録の突破や世界ランキングの上位であること、世界選手権などの大会で上位になっていることなどが、出場権を獲得するための条件だそうです。

前回のリオデジャネイロ大会では、22競技、約530種目が実施され、159の国と地域から約4,300人が参加する史上最大規模の大会となりました。リオデジャネイロ大会では、金メダルの獲得はなりませんでしたが、銀メダル10個、銅メダル14個獲得しており、東京大会でも日本人選手の活躍が期待できそうです。

オリンピック同様に厳しい条件をクリアして出場する全選手の素晴らしいプレイにぜひ注目してみてください。

2020年
東京オリンピックまで

905日

※平成30年1月31日現在